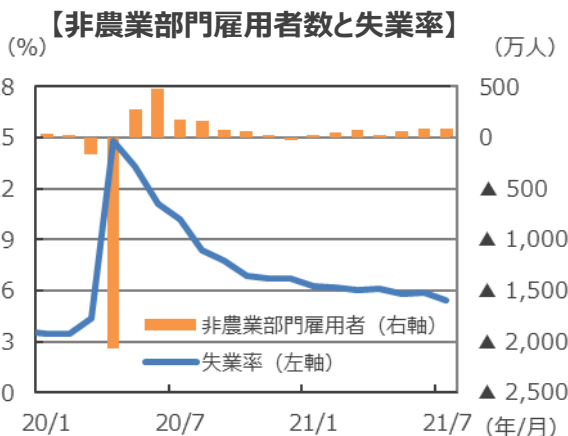




今日のトピック **米雇用統計で雇用者数は94万人増  
堅調な回復を好感し株価は上昇**

**ポイント1** **雇用者数は94万人増  
失業率は5.4%に低下**

- 米労働省が8月6日に発表した7月の雇用統計では、非農業部門雇用者数が前月から94万人増加しました。87万人程度の増加を見込んでいた市場予想をやや上回りました。
- 失業率は5.4%と、前月の5.9%から大きく低下しました。労働市場の回復は順調に進んでいます。



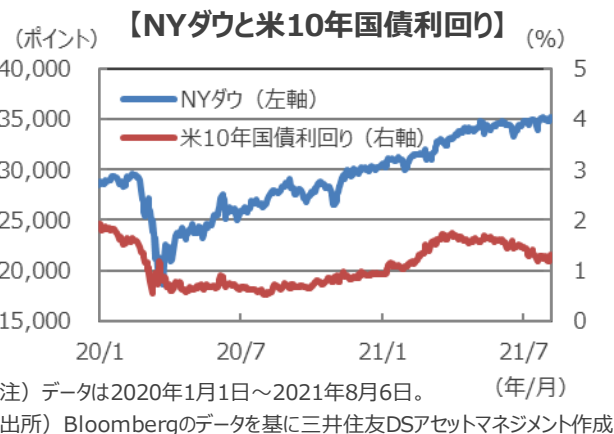
**ポイント2** **今後も雇用回復継続へ  
回復阻害要因も解消に向かう**

- 米国では新型コロナウイルスのデルタ型の感染が広がっているものの、ワクチン接種が進んでいる上、ワクチンに重症化を防ぐ効果が見られていることから、経済再開の動きは続いています。バイデン政権による大型景気対策の効果もあらわれてきています。こうしたことから今後も雇用の回復は続くと考えています。
- 対面サービス業や学校の再開が完全ではないこと、充実した失業給付が雇用増加を妨げる要因として指摘されています。ただ、こうした要因も徐々に解消に向かっていきます。

(注) データは2020年1月～2021年7月。  
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

**今後の展開** **経済再開に伴い株高継続へ**

- 6日の米国株式市場で、NYダウは0.4%上昇し過去最高値を更新しました。堅調な景気、企業業績や、米連邦準備制度理事会（FRB）による金融緩和の縮小観測を市場が消化しつつあることなどが株高要因となっています。
- 今後も経済再開の動きが続くことによって景気や企業業績が回復するに従い、株式市場も上昇基調を維持すると見ています。リスクとしては、デルタ型のさらなる感染拡大によって経済再開の動きが遅れることや、逆に経済再開の本格化によって早期の金融緩和縮小が改めて意識されることなどが挙げられます。



**ここもチェック!** **2021年8月4日 デルタ型蔓延でも米国株が底堅い3つの理由  
2021年8月2日 好材料に鈍感な日本株式市場**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。